

「横浜市立図書館における物流業務検討支援委託」

に関するプロポーザルに係る提案書評価基準

表1の評価項目及び配点のもと、評価を行います。

各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。

採点が同点の場合は、評価事項のうち、業務実施方針の合計点数で再評価を行い、受託候補を特定します。なお同点の場合には評価委員会で協議の上、多数決で最上位を決定します。評価委員会採決が同数となった場合は、委員長が決定します。

表1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価 (A～E)	評価点
1 業務実績 (15点)	(1) 会社	過去10年間の同種又は類似業務の実績内容及び物流への影響に関する業務実績	5		
	(2) 統括責任者	過去10年間の同種又は類似業務の実績内容及び社内責任者の配置	5		
	(3) 担当者	過去10年間の同種又は類似業務の実績内容及び配置人数	5		
2 業務実施方針 (90点)	(1) 業務に対する考え方の妥当性	本業務の趣旨及び目的を十分理解し、関連する計画等との整合が図られているか	15		
	(2) 業務実施手法の妥当性	①物流拠点設計作成のための各検討項目における手法の具体性、確実性はあるか	20		
		②業務フロー等作成のための各検討項目における手法の具体性、確実性はあるか	20		
	(3) 業務実施工程（スケジュール）の妥当性	業務説明書の内容を満たす計画となっているか	15		
	(4) 業務実施体制の妥当性	業務実施に必要な実施体制を整え、業務遂行能力が高い体制か	15		
3 ヒアリング (10点)	(5) ワーク・ライフ・バランスに対する取組等	次世代育成支援対策推進法による認定の取得（くるみんマーク）、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又はよこはまグッドバランス企業認定の取得	5		
	取組意欲		5		
評点の合計（115点満点）					

- (1) 業務実績については、A、Cの2段階評価を行う。
- (2) 業務実施方針のうち(1)から(3)は、A、B、C、D、Eの5段階評価、(4)はA、C、Eの3段階、(5)はA、Cの2段階評価を行う。
- (3) ヒアリングについては、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

(4) 評価点について、次のように配点を行う。

配点にA = 5 / 5、B = 4 / 5、C = 3 / 5、D = 2 / 5、E = 1 / 5を乗じて算出する。

配点15点 A = 15点、B = 12点、C = 9点、D = 6点、E = 3点

配点10点 A = 10点、B = 8点、C = 6点、D = 4点、E = 2点

配点5点 A = 5点、B = 4点、C = 3点、D = 2点、E = 1点

(5) 評価項目において、1項目でも評価がEとなった場合、評定の合計が69点未満の場合は選定しない。

(6) 業務実績について

ア 同種業務

国または地方自治体の公共図書館に係る業務で次のいずれかに該当する業務

- ・図書館や図書取次拠点数の変更に伴う物流量や配送期間への影響の検討もしくは計画等策定
- ・配送ルートの検討、計画等策定または運用
- ・必要となる物流拠点の規模や配置等の設計にかかる検討もしくは計画等策定
- ・効率的な物流業務の遂行に向けた業務の検討・見直しもしくは計画等策定

イ 類似業務

国または地方自治体、それに準ずる団体、または民間企業等の学校又は社会教育施設に係る業務で次のいずれかに該当する業務

- ・配送拠点数の変更に伴う物流量や配送期間への影響の検討もしくは計画等策定
- ・配送ルートの検討、計画等策定または運用
- ・必要となる物流拠点の規模や配置等の設計にかかる検討もしくは計画等策定
- ・効率的な物流業務の遂行に向けた業務の検討・見直しもしくは計画等策定

表2 評価の視点

評価項目	評価の着眼点		評価				
			A	B	C	D	E
1 業務実績	(1) 会社	過去10年間の 同種又は類似 業務の実績	同種又は類似 業務の履行実 績があり、かつ、 物流への 影響に関する 業務の実績が ある		同種又は類似 業務の履行実 績があるが、 物流への影響 に関する業務 の実績はない		
	(2) 統括 責任者	過去10年間の 同種又は類似 業務の実績	本業務に関連 する業務経験 を有する人員 に、社内の統 括責任者が配 置されている		本業務に関連 する業務経験 を有する人員 に、社外の統 括責任者を配 置している		
	(3) 担当者	過去10年間の 同種又は類似 業務の実績	本業務に関連 する業務経験 を有する人員 が担当者2名 以上配置され ている		本業務に関連 する業務経験 を有する人員 が担当者に配 置されている		

2 業務実施 方針	(1) 業務に対する考え方の妥当性 本市の状況及び本業務の趣旨・目的、市立図書館の物流業務にかかる現状と課題を理解し、かつ物流業界を取り巻く社会情勢を踏まえた視点を持っているか	的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり把握していない	把握していない
	(2) 業務実施手法の妥当性 ①物流拠点の規模・立地、人員配置、経費等の整理に向けた手法の具体性、確実性はどうか	具体的な手法に基づいた実効性のある提案である	実効性のある提案である	どちらともいえない	あまり実効性のある提案ではない	具体性がなく、実効性のある提案ではない
	②業務フロー検討・再構築に向けた手法の具体性、確実性はどうか	具体的な手法に基づいた実効性のある提案である	実効性のある提案である	どちらともいえない	あまり実効性のある提案ではない	具体性がなく、実効性のある提案ではない
	(3) 業務実施工程（スケジュール）の妥当性 業務説明書の成果物の提出スケジュールに沿った計画	計画性があり、不慮の事態にも対応できる内容である	計画性がある内容である	どちらともいえない	あまり計画性がある内容ではない	計画性がなく、今後の見通しが乏しい内容である
	(4) 業務実施体制の妥当性 業務実施に必要な実施体制を整え、業務遂行能力が高い体制か	物流拠点検討、業務効率性の提案に向けて、十分な体制が配置され、業務遂行能力が高いと感じられる	物流拠点検討、業務遂行能力の提案に向けた体制がある	物流拠点検討、業務遂行能力の提案に向けた体制がある	物流拠点検討に向けた体制が不十分である	物流拠点検討に向けた体制が不十分である
	(5) ワーク・ライフ・バランスに対する取組等 次世代育成支援対策推進法による認定の取得（くるみんマーク）及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又はよこはまグッドバランス企業認定の取得	取得している、または認定されている	取得していない、又は認定されていない	取得していない、又は認定されていない	取得していない、又は認定されていない	取得していない、又は認定されていない
3 ヒアリング	取組意欲の感じられる提案であるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない
	業務に必要な専門的知識を持ち、質問に対して的確な受け答えができるか	特に優れている	優れている	どちらともいえない	あまり妥当ではない	妥当ではない